

第3問

A 瀬戸内海の水運整備②に伴い、東北・北陸からの物流の経由地でなくなった②京都は、物資の運送業者や宿屋が衰退したが、物資の集散地である大坂の後背地①として綿花や絹織物等の商品生産を行った①。

2+2+1+1=6 点

B 堂島米市場をもつ大坂は諸大名の年貢米の換金と非自給物資の購入を行える唯一の地①だったが、農村の商品作物栽培が進展②し、関東地方が江戸の後背地として機能して江戸地廻り経済圏が成立した②上に各地を結び取引する廻船業者も現れ②、大坂の必要性が低下した。

1+2+2+2=7 点

6+7+R2=15 点